



新緑の庭木に囲まれひっそりと佇む長英旧宅

Oshu Heritage

奥州遺産

No. 22

「ときを越え
受け継がれるもの」

高野長英旧宅

〓 水沢区字大畑小路 〓

市役所から南へ伸びる通り、メイプル西館裏手に静かに佇む高野長英旧宅。古くは市役所北側に水沢城が構えられ、江戸時代後期、周辺は多くの武家住宅が建ち並んだ。明治維新まで続いた城下町は、今もその名残を留める。

長英旧宅1階の上座敷、次座敷、西縁は長英が過ごしたままの姿を残す。特に上座敷は「長英の間」として大事にされてきた。明治9年の改修で2階を増築。当時では貴重な手漉きガラスを使用し、明り取りや欄間、手すりなど、明治時代の粋な意匠が施された。

昭和8年、上座敷と次座敷の2室が史跡として国の指定を受けた。今まで保存されてきた建物は、本年度の改修で当時の状態へと復元される。

これまで外観のみの見学となっていたが、来年度から内部も公開予定。長英が過ごした歴史ある屋敷は、木洩れ日の中、来客の訪れ待ち侘びている。

広告



※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約28円です。】